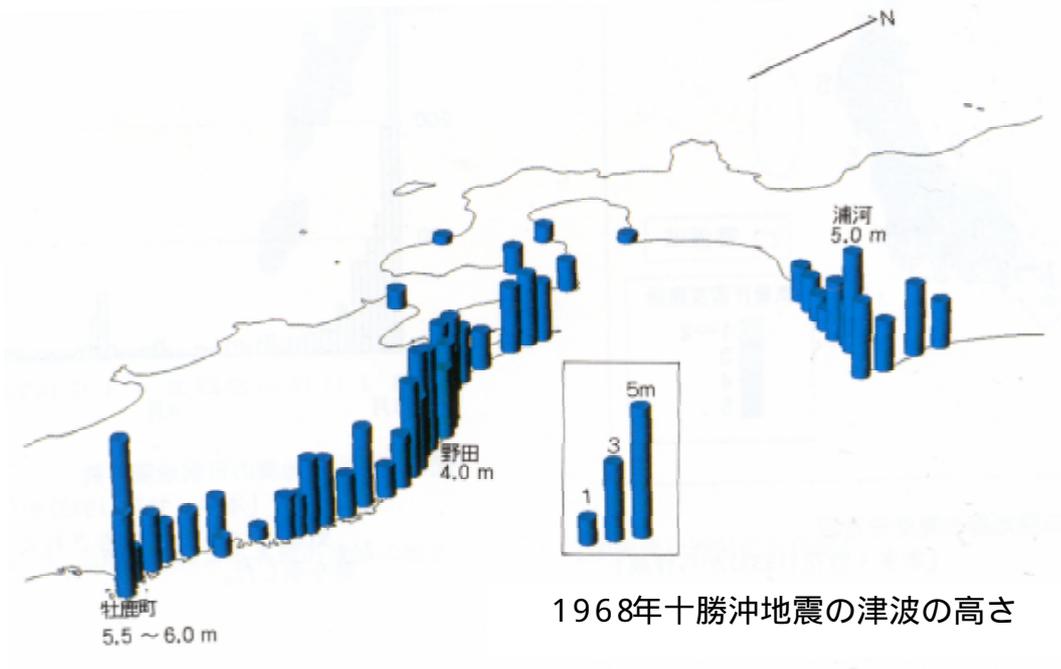


# 1968 (昭和43)年十勝沖地震 (M7.9)



死者 52人  
 家屋全壊 673棟

干潮時のため津波の被害は比較的少ない

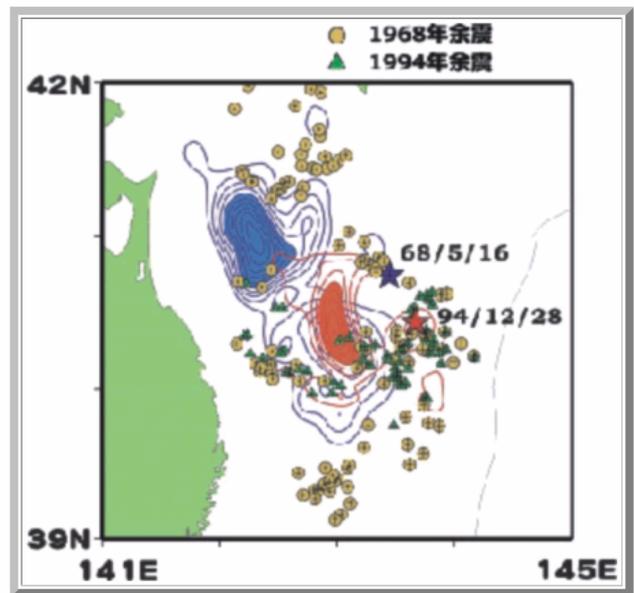
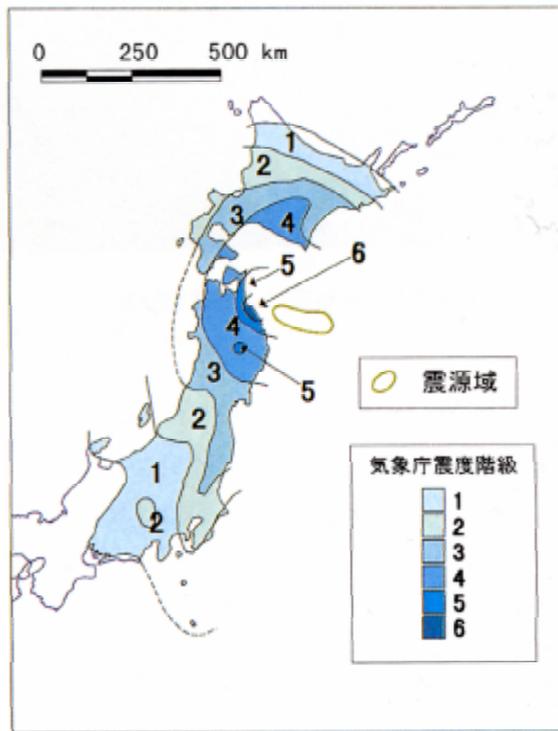


図2 1968年6月16日十勝沖地震(MJ7.9:青色)と1994年12月28日三陸はるか沖地震(MJ7.6:赤色)のアスペリティ分布と余震分布.

「山中・菊地 (2001)」、「日本の地震活動」より

# 1994 (平成6)三陸はるか沖地震 (M7.6)



死者	3人
住家全壊	72棟
揺れによる被害	

三陸はるか沖地震の震度分布図

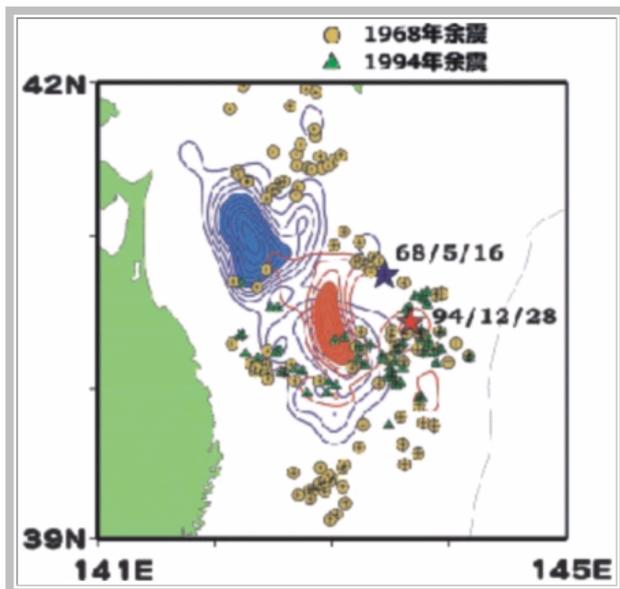
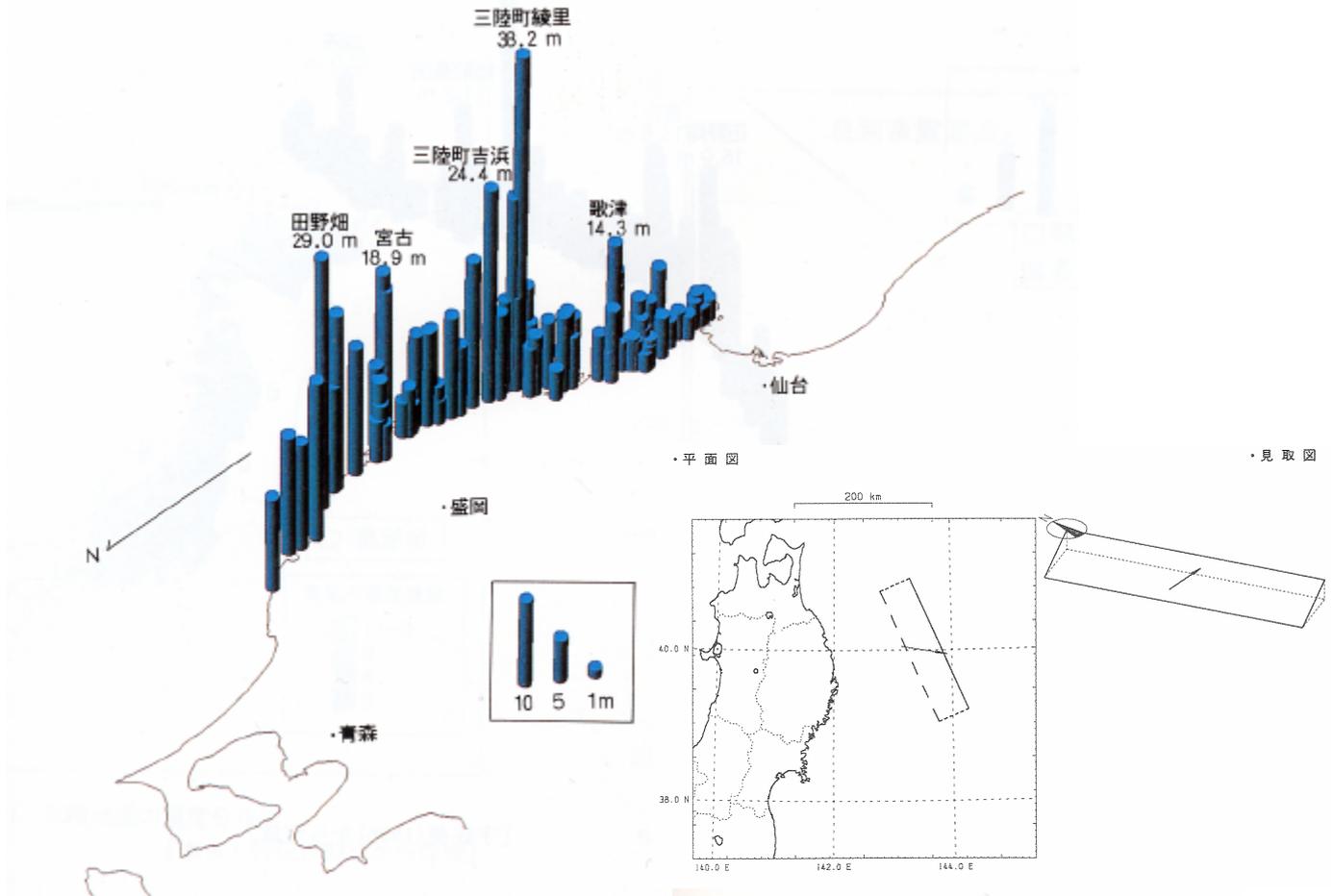


図2 1968年6月16日十勝沖地震 (MJ7.9 : 青色) と1994年12月28日三陸はるか沖地震 (MJ7.6 : 赤色) のアスペリティ分布と余震分布.

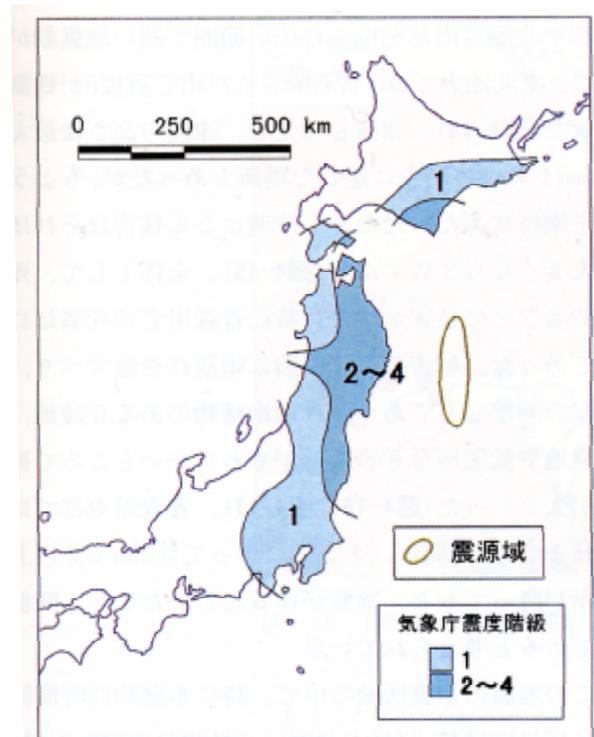
「山中 菊地 (2001)」、『日本の地震活動』より

# 1896 (明治 29)年明治三陸地震 (M 8.5)



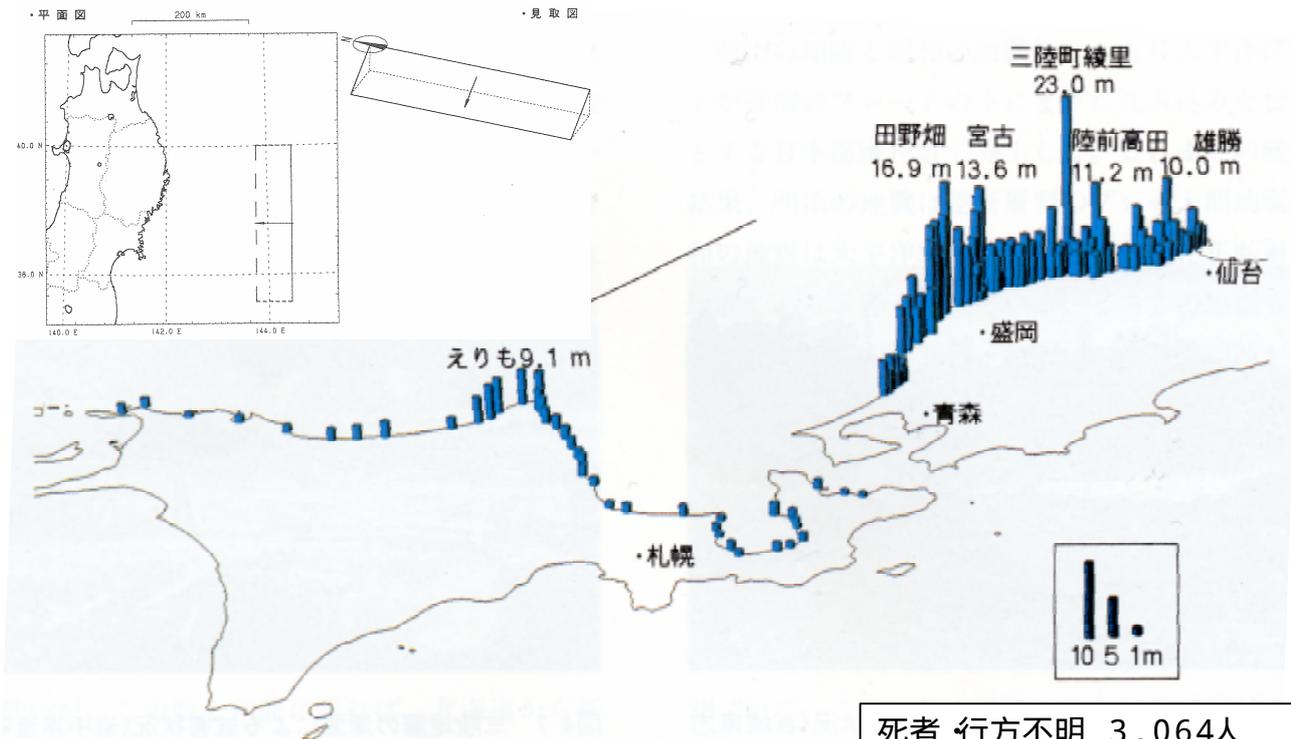
明治三陸地震の津波の高さ

死者	約 2万 2千人
建物被害	約 1万 2千棟
津波による被害 (揺れによる被害はなし)	

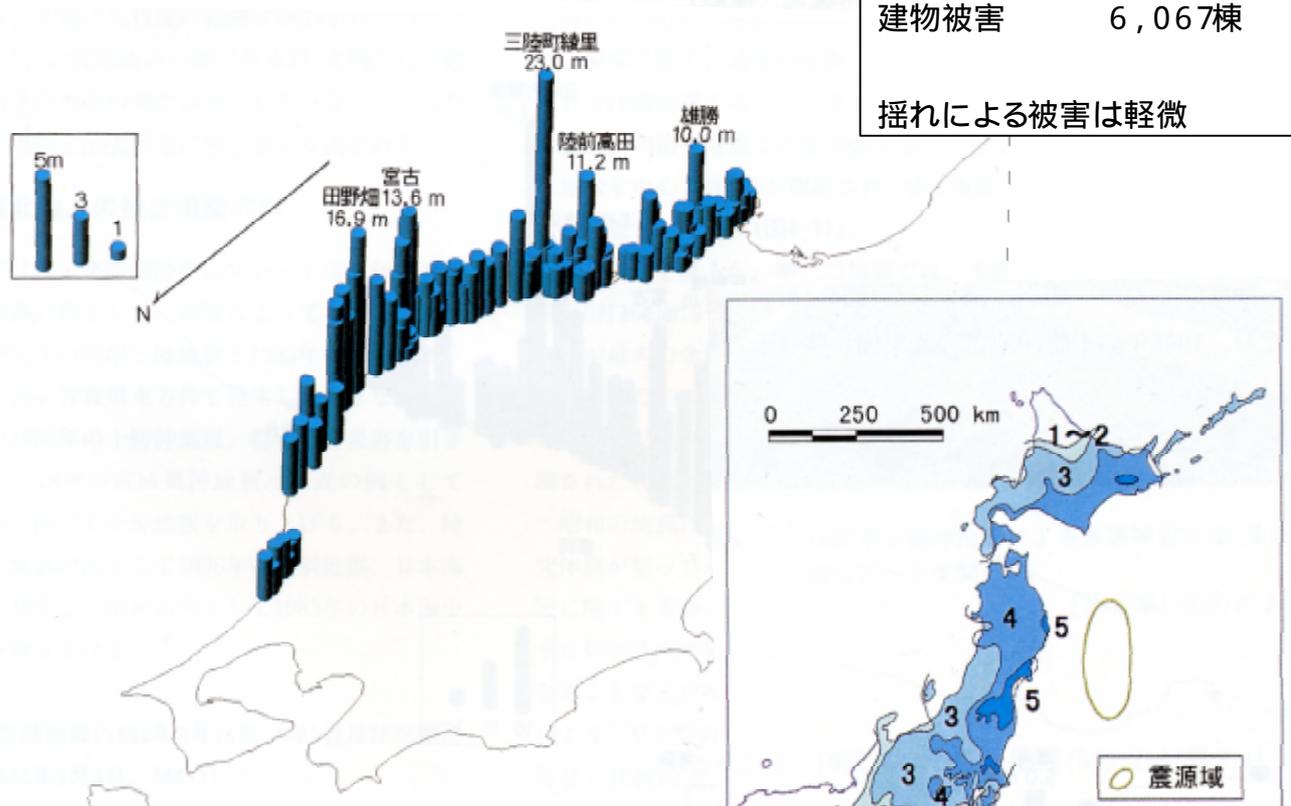


明治三陸地震の震度分布図

# 1933 (昭和8)年昭和三陸地震 (M8.1)

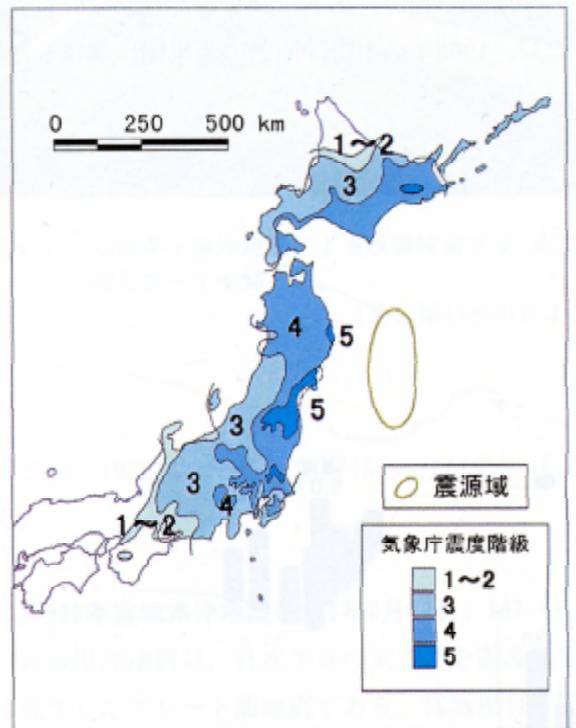


死者 行方不明 3,064人  
 建物被害 6,067棟  
 揺れによる被害は軽微



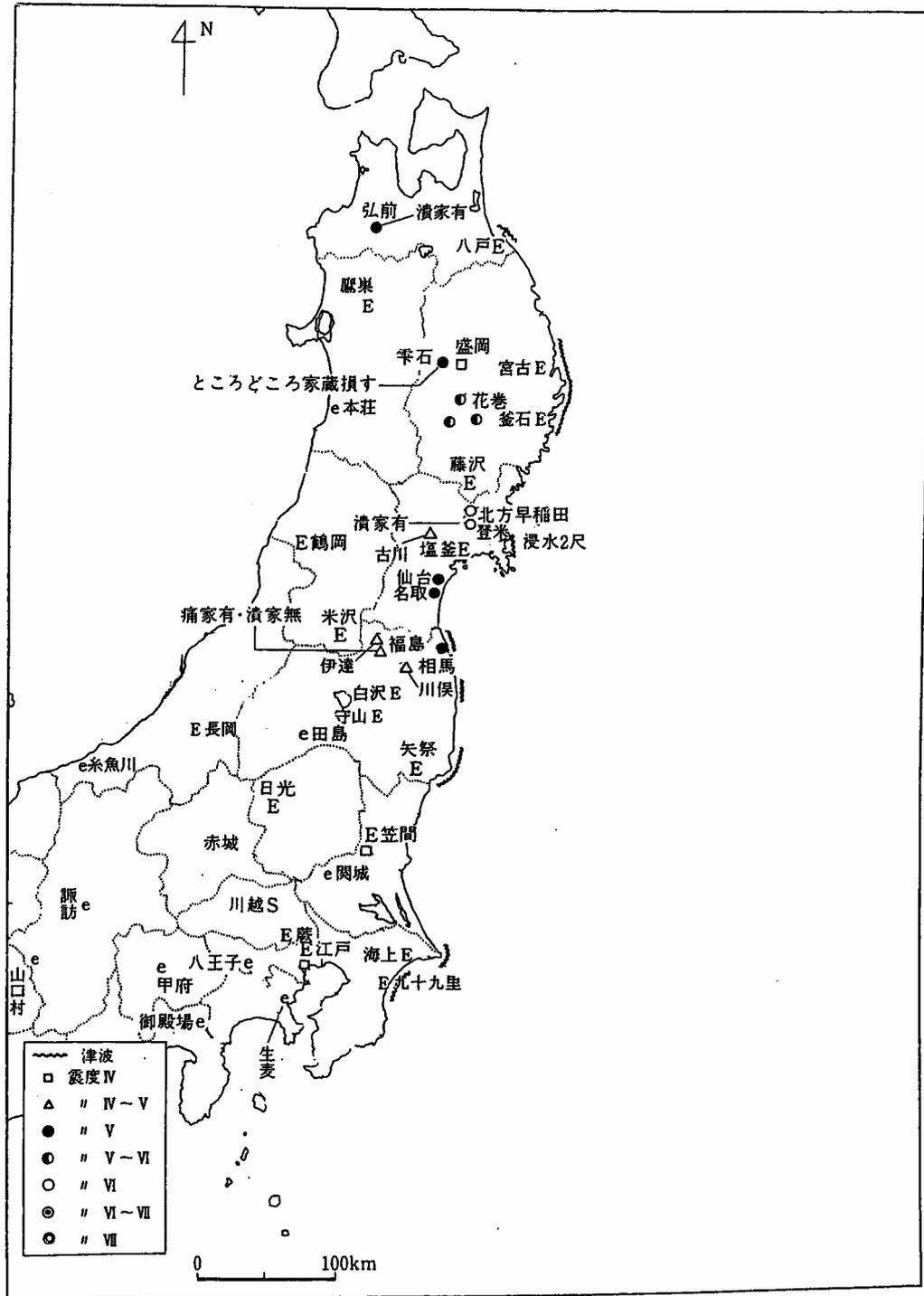
昭和三陸地震の津波の高さ

日本の地震断層パラメーター・ハンドブック、  
 日本の地震活動」より



昭和三陸地震の震度分布

# 1793 (寛政5)年宮城県沖地震 (M8.2)

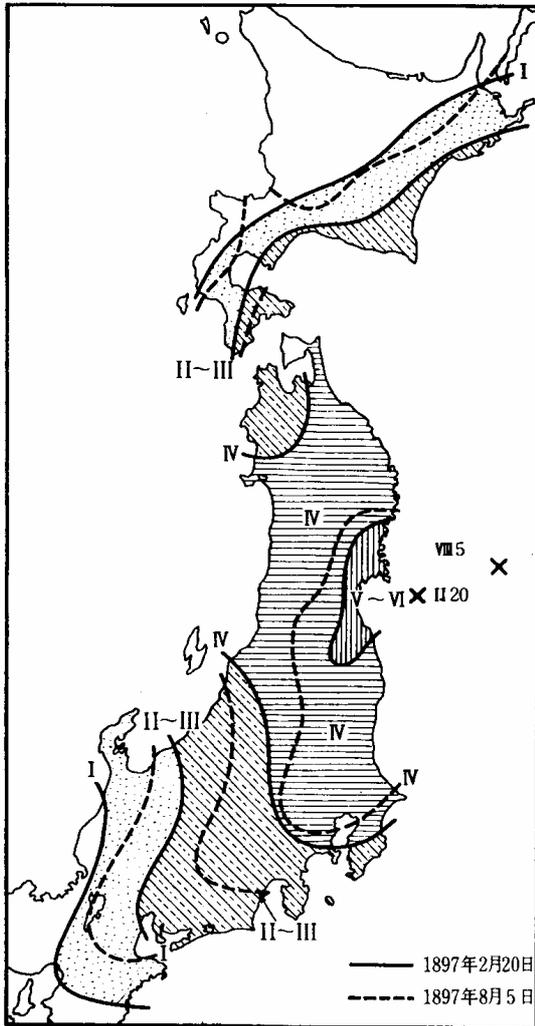


死者	44人以上
住家全壊	1,730余
津波による被害大	

宇佐見龍夫著「日本被害地震総覧」をもとに作成

1897 (明治 30)年

宮城県沖地震 (2月 20日 M 7.4)と三陸沖南部の地震 (8月 5日 M 7.7)

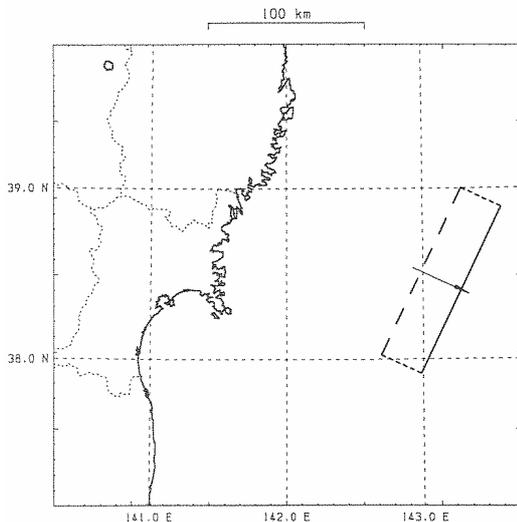


2月 20日の地震  
揺れにより小被害 (住家全棟 1、半潰数 10他)

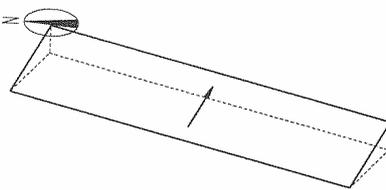
8月 5日の地震  
揺れによる被害ほとんどなし  
津波により浸水家屋 56棟

震度分布図

・平面図

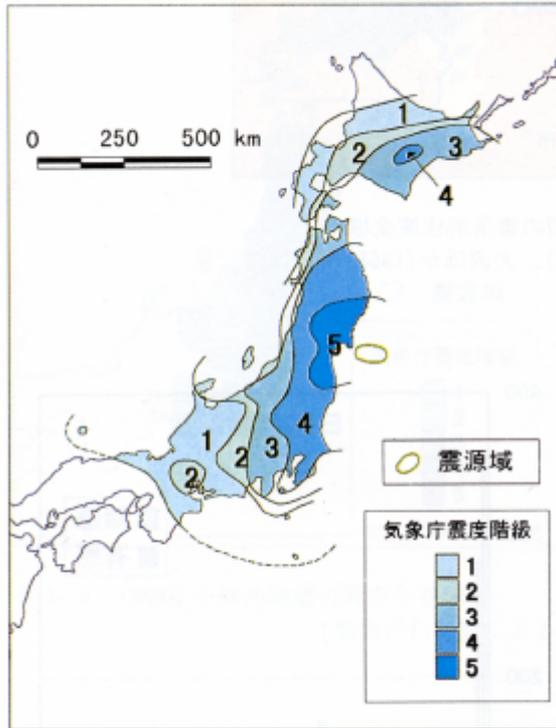


・見取図



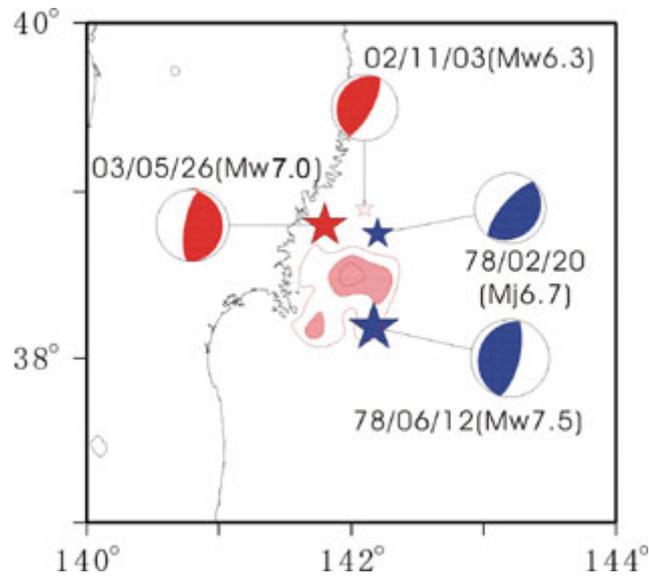
宇佐見龍夫著「日本被害地震総覧」  
「日本の地震断層パラメーター・ハンドブック」

# 1978 (昭和 53)年宮城県沖地震 (M 7.4)



死 者	28人
住家全壊	1,183棟
津波の高さは最大1.7メートル	

1978年宮城県沖地震の震度分布図



1978年宮城県沖地震のアスペリティ分布 (コンター部)